

# GNH 研究所 2014 年 2 月定例会合 議事録

文責 藤原 整 (GNH 研究所 東京事務局)

## ■概要

日 時： 2014 年 2 月 16 日 (日) 10:00~12:00  
場 所： JICA 地球ひろば (JICA 市ヶ谷ビル内) セミナールーム 600  
参加者： 15 名

## ■講演テーマ

【幸福を目指す街づくり ～岡山県総社市の事例を参考に～】

講演者：平山修一 (GNH 研究所 代表幹事)

地域の人たちの幸福度アンケートを通じて、地域力を高める取り組みを、NPO 法人吉備野工房ちみちと平山が岡山県の支援を受けて行っています (NPO 法人吉備野工房ちみち岡山県総社市一帯を中心にまちづくり活動を行っている NPO です)。こうした活動を通じて、どう GNH の考え方を日本で応用しようとしているのか、苦労話も交えながらざっくばらんにお話ししようと思います。

講演の後、【ほんのちょっとあなたの幸福度を上げるために出来る事】と題して、グループに分かれて、参加者の皆さんのアイデアをもとに意見交換します。普段の生活をいつもよりちょっぴり幸せにできるコツのようなものを出し合い、【貴方の幸福度を高めるために今すぐ出来る事 (仮)】をまとめてみたいと思います。

## ■当日スケジュール

10:00-10:30 アイスブレイク  
10:30-11:00 講演  
11:00-11:45 ワーク  
11:45-12:00 まとめ (ワークの感想、諸連絡など)

## ■内容報告

インドネシアから一時帰国中の平山代表を招いての久々の会合は、折しも大雪の影響を受けて開催が危ぶまれましたが、なんとか開催できる運びとなりました。

当日は、まず、アイスブレイク (当日、家を出発した時刻順に並ぶ) を通してグループ分けを行い、それぞれ 3~4 名のグループに分かれて自己紹介をしました。その後、平山代表から、「幸福を目指す街づくり ～岡山県総社市の事例を参考に～」をテーマに講演が

行われました。

講演の中では、日本の行政による幸福度調査が、指標化やランキング化が目的になってしまっている点を指摘した上で、岡山県総社市における革新的な施策について紹介されました。総社市では、「地域をどう受け継ぐのか」という観点からワークショップ、アンケート調査が実施されており、数値では測れない地域住民の生の声を集めて、その土地ならではの「幸せな暮らし」とは何かを追求している様子が印象的でした。また、「行政のための調査ではなく、地域住民が主体となって行政を活用する」という姿勢や、「市場化された社会から、伝統や文化、規範を大切にす社会」への転換といったお話に対しては、参加者からも共感の声が聞かれました。

講演の後、ワークショップ形式で、「貴方自身が幸せになれる幸せになる/幸せな気持ちになれる具体的な行動」はなにか、参加者へ問い掛けが行われ、各々、自分自身の生活を振り返りながらペンを走らせていました。当日の参加者の方から集められたご意見については、別途、平山代表の手で「Happiness に近づくために出来る事」として取り纏められる予定です。

以 上